

コード No. 16061

Anti-Substance P Rabbit Serum

容量 : 0.2 mL

はじめに : Substance P は、別名 P 物質といい、神経細胞から神経細胞へ情報を伝達する情報伝達物質の一種であり、神経成長因子によって神経細胞内での合成が促進される蛋白です。この蛋白は、内臓の平滑筋の血管を拮げて血圧を降下する作用、唾液の分泌を亢進する作用、小腸を収縮させる作用などがある。構造はアミノ酸 11 個がつながった比較的簡単なもので脳、脊髄、腸管に存在しています。

サブスタンス P が受け持っていると考えられている神経の興奮伝達部位は、末梢神経からの信号を伝える求心性知覚神経繊維と、神経の大動脈ともいえる脊髄の神経細胞とのシナプスであり、手足の痛みや熱さ、冷たさなどの情報を脳に伝えている。

免疫抗原 : 合成 Substance P (Bovine, Human, Mouse, Rat 共通部分)

免疫動物 : ウサギ

由来 : 血清

包装形態 : 1 %BSA, 0.05%NaN₃ 含有 PBS 0.2 ml に溶解したものを凍結乾燥

再生方法 : 蒸留水 0.2 ml 添加

希釈例 : 1% BSA 含有 PBS

保存方法及び安定性 : 2 ~ 8 °C 保存 5 年間安定

: 溶解後 -20 °C 保存 2 年間安定

使用目的及び使用方法 : 免疫組織染色 400 倍希釈にて使用可能 (凍結切片)

使用方法

特異性 : Rat Duodenum にて確認